

**2 目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	離園者が多いため、玄関と非常口の施錠を行っている。 どうしたら施錠の解消ができるか話し合うことが必要である。	①施錠は身体拘束であることを再確認する。 ②鍵を外す時間を作る。 ③外へ行きたい気持ちに応えるケアを行う。	①職員間で話し合いを行う。施錠は身体拘束であることを再確認し、施錠を解消するにはどうしたらよいか考える。 ②様子を見て、鍵を外す時間を作る。鍵を外す時はスタッフ全員に伝えて、入所者の人員確認をしっかりと行う。 ③外へ行きたい気持ちが強い入所者には、個別にケアプランを立て、外へ行きたい気持ちに応える。ドライブや散歩に出掛ける時間を設ける。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。